

72 年の發達に係り未知の事實尠からざるを以て之か研究を必要とす。

研究の順序及範圍 前記事項は甚だ廣汎なれとも、各項一齊に研究に著手せんとするに非ず、其輕重緩急を按し經費の許す範圍に於て研究の順序を定むべく、且又研究所は専ら學理の方面より根本的研究を爲すを以て主たる目的とするものなれば、現實の問題を捉へて専ら實用上の方面より之か解決を爲さむとする官公立試験所と、其事業に於て相牴觸し又は重複することなきを期すべく、研究問題に付ても此等の場所にて既に試験又は研究に従事せるものは協議相談に應ずるの外、成る可く重複して研究すること無かるへし。

●工業試験所(東京)の鐵材檢定 農商務省にて大

正五は年度豫算にて工業試験所の經費九萬七千餘圓を増し此程議會を通過したるを以て、東京深川なる同試験所は時局に關し最も痛切に必要を感じるものを主とし早速擴張に著手する由なるか、其第一分析科にては鐵材檢定機を裝置して各種鐵材の強弱に關する試験をなす都合なりと。

●大阪工業試験所の鎖試験開始 大阪府立工業

試験所にては從來工業者の依頼に應じて工業品の檢定試験をなし居たるか、本年四月より更に事業を擴張して依頼以外に積極的持續的研究を開始し、以て工業界の指導開發に任するため現在員の外に技師技手各三名を増加すること

とし、其經費八千圓も既に府會の協賛を経たれば、目下海外視察中なる平田所長の歸任を俟つて夫々人選採用の運に至るへし、尙同所にては今回英國デニソン會社に註文中なるロープ及鎖加重試験機械据付の工場を建築中なるか、建坪百七十五坪幅七間長二十五間の細長さ平屋建にて、内百坪を五室に仕切り前項實驗室に充つへし、これにつき岩崎所長代理は語つて曰く、我製鎖業は十五六年前に漸く獨立し、大阪に於ても古田大阪製鎖所、其端を啓きしか、爾來鎖の需要増加すると共に小森製鎖所日本チェーン株式會社等の大會社以外に二三千圓を資金とする幾多の小會社を生せしか、是等の小會社にありては其の製作したる鎖の牽引力試験設備に多大の費用を投する能はず、勢ひ高價の使用料を仕拂ひて大會社の牽引試験機械を借用せざるへからざる不都合あるを以て、今回工業試験所に於て同機械を据付け以て其の依頼に應ずべく目下其工事中なるが、來二三月頃竣功と同時に同機械も到着の筈なり、同機械は約二百噸乃至三百噸迄位の索引力試験に應し得べく、其据付費を加へて約一萬六千圓を要す云々。(一月二十六日大阪毎日)

●鐵鋼に關する改正關稅率 時局に關する輸入稅

の一部改案は過般議會を通過し、三月六日附を以て發布せられたり、改正關稅率法中鐵及鋼に關係ある品目及其稅率を掲ぐれば左の如し。

品名	新税率	舊税率
鐵の層及故	無稅	每百斤 〇・一八 ^四
鐵接の鐵管	每百斤 二・五〇 ^四	每百斤 一・一〇 ^四
鐵製の鏈(五百グラム以下のもの)	從價三割	每百斤 二・〇〇
スト ^一 製 ^二 鐵 ^三 物 ^四	每百斤 一三・七〇	每百斤 二・七〇
其他の物	每百斤 一三・四〇	每百斤 九・六〇
部分其他	從價四割	每百斤 二・〇〇
品其他	從價四割	每百斤 七・五〇
ミリングカッター、ギアカッター	無稅	カッター 每百斤 一三・〇〇
機械用鋸	無稅	機械用鋸 每百斤 一・一〇
ニッケル塊及粒	無稅	每百斤 四・七五
同層及故	無稅	從價五分
眞鍮及青銅の條及竿(スチウム用)	每百斤 一六・〇〇	每百斤 七・五五
家屋、橋梁、船舶等の建設材(鐵材以外のもの)	從價二割五分	每百斤 一・九〇

●鐵鋼に關する企業 各新聞紙上に傳ふる所を集録すれば左の如し。

岸本製釘所の擴張 岸本製釘所にては年額三十萬樽の生産能力あるも、鐵材不足の爲め二十萬樽内外の製造に止め居れるか、戰亂以來海外よりの洋釘輸入杜絶せる結果内地

の需要の激増と支那印度南洋方面の註文増加せるより、此の際原料の一部を自營せん計畫あり、昨冬來尼ヶ崎工場にて製造を始め、年額約四五萬噸の生出能力あることを確めたるより、今後の成績により擴張し、原料を自給する外過剰品は一般市場に賣出す計畫なりと、(三月十二日大阪毎日)

大阪製鋼會社設立 在大阪某々有志者の計畫に成る大阪製鋼會創立の議は一時沙汰止みとなりしか、財界の好況に鑑み從來廣谷某の個人經營なりし廣谷製鋼所を現存土地建物機械一切評價十二萬圓にて買收し、更に資本金六十萬圓を募り、主として燻煙防止燃燒機並にセメント製造機械を製作すへしと。(二月中旬大阪各新聞)

高岡鐵工所設立 菅野傳右衛門氏等は今回富山縣高岡市に一大鐵工所を設立する計畫をなし、客臘運動しつゝありしか、今回愈資本金二十萬圓を以て高岡鐵工所を設立する事に決したるか、株式は全部發起人に於て引受くる事となしたりと。(二月十四日中外商業)

鐵管業合併問題 我國の鑄鐵管製造者は大阪鐵工所尼ヶ崎分工場及久保田栗本兩鐵工所にして、豫てより競争を避くる爲め協和組なるものを設け、各官衙諸會社にて公入札ある場合には右協和組にて引受け、之を各自に分配し製造しつゝありしに、時局の影響を受け大阪鐵工所は造船註文に逐はれ、久保田また旋盤の製造多忙にて共に鐵管の製造